

とする點など氏の論述に於て異議ある人と雖其の特色として認めざるを得ぬ所であらう。次に看却すべからざる其の特徴は此處に擧げられてゐる文獻は原著であつても又紹介であつても兎に角日本文のものが大部分を占めてゐるといふことである。勿論日本の心理學界の業績のみを以て間に合はすといふことは日下不可能であるが併し從來の我國の心理學書が入門的なものであつても徒らに歐米の參考書のみを擧げて得々としてゐたもの等に對しこれは正に一服の清涼劑を與へるものであると思ふ。併し氏自らも斷られるが如く本書は氏の多年に渉る講義、論文等を集めて纏めたものであるため、思想に於ても叙述の形式に於ても十分統一されてゐない點があり、尙若干誤植或は氏の書き誤りと見られる事實、例へば矛盾冷覺の敘述に於けるが如きなども無いではないことば認めればならぬ。其他氏の論行には動もすれば飛躍があつて追隨し難いと云ふ人もあるが確に理解し易いと云ふことは出来ない。其れにも拘らず日本の心理學界に近く現れた一つの勞作として、獨創的な思索を含むものとして心理學專攻者其他心理學に少し深く關心を持たれる人々が讀まれるならば暗示を受けられるところも少くはなく、又氏の所說について之を批評し更に論戰を交はすが如きことがあるならばこれ又我國心理學界に一入の活氣を與へ進展を促すものとして歡迎せらるべきこととならう。且書物の印刷も圖表等に到るまで誠に綺麗であり又價格も餘り高くない。かゝる諸々の意味に於て之を江湖に薦めて敢て差支ないと私は思ふものである。(岩波書店發行、定價貳圓七拾錢)(佐藤幸治)

寄贈圖書

故調須磨著 調須磨遺稿集 福岡市百道女子學院 非賣品

三田哲學會編 哲學 第八輯 丸善株式會社刊 價 壹圓八拾錢

ロックナー著 大江精志郎譯 へーゲル復興と新へーゲル主義 理想社出版部刊 價 八〇錢

寄贈雜誌

哲學雜誌 昭和六年九月 五三五號

丁西倫理會講演集 同八月 三四六號

理想 同九月(へーゲル復興第二冊) 二六號

倫理研究 同八月 一五號

社會學徒 同八月 五卷八號

學校教育 同九月 二一九號

大東 同八月 二六卷七號

生理學研究 同九月 八年九號

奈良縣教育 同八月 二二〇號

信濃教育 同九月 五三九號

願悲 同八月 十年八號

教育問題研究 同九月 六三號

雜誌索引 同九月 二卷十六回